

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還）5

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43777">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43777</a>

來電

(九  
一  
八  
一  
九  
二  
三)

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号 (TA) 41705  
 69年 9月 18日 20時 20分 米 国 省 主 管  
 69年 9月 19日 09時 36分 米 本 省 発 着

外務大臣 殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

ヒラサワ和重氏のジョンソン次官との会見

第2942号 極秘

当地来訪中のヒラサワ和重氏は、18日ジョンソン國務次官と会見したが（タナカ大使同席）同次官の発言要旨次の通りの趣である。

1. オキナワ返かん交渉は大体において順調に進んでいると考える。いろいろ問題はあるが、日本が韓国、台湾、<sup>K</sup>グアイエトナム問題に対してそのし勢を明か<sup>A</sup>すに至つたことは、以前に比し安全保障問題について日本の国内情勢が好転していることを示すものと考え。 (該については言及せず。) 自分は今後米国がアジアから手を引こうとすれば、日本がこれをとめる時期が来ると思う。最近はおキナワ問題で統合参謀本部と会議をしたが、軍側が1970年以降日本は安保条約を廃きし得る状態となるのにオキナワを返さずことは危険ではないかといつたので、自分は米側にも条約廃きの権利を生ずると応じゆうした。

2. 米中関係について最近米国は中共に対して小さなジェスチャーを示したが、もちろん直ちに効果は期待していな

万 符  
カ ヒ

官 房 長  
外 務 省 長  
外 務 省 長  
外 務 省 長

計 画 課 長  
参 事 長  
参 事 長  
参 事 長

東 京 支 部 長  
中 京 支 部 長  
西 京 支 部 長

北 京 支 部 長  
北 京 支 部 長  
北 京 支 部 長

参 事 一 二  
参 事 一 二  
参 事 一 二

参 事 一 二  
参 事 一 二  
参 事 一 二

参 事 一 二  
参 事 一 二  
参 事 一 二

参 事 一 二  
参 事 一 二  
参 事 一 二

参 事 一 二  
参 事 一 二  
参 事 一 二

参 事 一 二  
参 事 一 二  
参 事 一 二

参 事 一 二  
参 事 一 二  
参 事 一 二

## 注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

## 電信写

い。然し年内に更に同様の措置をとることも考えている。また10月に入れば米中会談再開の申入れをする。  
中ソ関係につき、ソ連外交官は公式には否定するがLOW  
RUB LEBLEでは中共の核開発施設をはかいしてしま  
うことをどう思うか等と米側にWHISPERSする。然し  
核の施設をはかいしても戦争が終るわけはなく、またソ連  
は通常兵器で戦つても中共より強いが、中共領内に攻めこ  
んでも占領を続けることは不可能である。中ソ戦えば一見  
米国にとり有利のように思えるが、そのは及するところ如  
何なることとなるかの点で危険であり、米国は反対である  
ことをソ側に伝えている。結局米国としては中・ソが現在  
程度の対立関係で推移することが有利であると考えている。

3. ヴェトナムについては米国の国内情勢については米  
軍の削減と戦争のVIETMINAZATIONにより  
手当が可能と考える。

米国が早急に全面撤兵をして南越を放きすることは米国史  
上最初の敗戦をかん受することとなり、大統領としては絶  
対に出来ないことであり、米国としては内政的にも軍事的  
にも持ちゆうの体制をとるということである。南越におい  
てはチュ一はすぐれた政治家であり、今後の政治体制は彼  
を中心としてやつてゆかねばならない。私見としてはパリ

極秘

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

会談は有意義ではあるが、ヴェトナム問題の解決は公式の合意によらず、事実上の事態によつてもたらされると考  
える。

(3.)

— 3 —

極秘 24

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 69年9月18日19時15分 米 回 務 管  
 69年9月19日08時57分 本 省 着 米北

外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ返かん交渉

第2943号 極秘

タナカ大使より

アイチ大臣の國務長官との会談後、國務省は議会に対して本件交渉について了解工作を始めたが、関連情報次のとおり。

1. 17日スナイダーはマイヤー大使とともに15日下院アジア太平洋問題小委員会(秘密会、出席者約40名の由)に出席し、交渉の経緯を説明したと述べ、本使よりふん囲気はどうであつたかと質問せるに対し、THEY ARE NERVOUSと答えるとともに、返かん後の極東の安全保証、アジアにおける日本の責任、日米経済問題等について質問が出た。議会は返かんに伴う財政問題について強い意向を持っていると述べた。

2. 17日フインは、マイヤー大使は前記小委員会の外、相当数の議員と会談し、了解工作に努めていると述べた。

3. 18日ジョンソン次官は、これまで國務省が接触したのは外交委員会関係であり、かれらはNERVOUSでは

カレ  
 万博  
 大政事外外務官  
 務務典房  
 次次  
 臣官官審審長長  
 儀書文会管給  
 総人電厚計  
 国務長領移長  
 参調析企  
 参領旅移  
 ア 参地中東  
 長 北東西  
 米 参北北保  
 中南審  
 欧 参西東洋  
 長 西東  
 近 参書近ア  
 長 次総経国万  
 長 参質統三  
 参政技二  
 国一理  
 参参協規  
 長 参政経科  
 専社專  
 参道内外  
 文長  
 一一

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

あるが大体において問題に理解をもっている。問題は軍事委員会であるが、現段階においては未だアプローチしていない。国務省としてはオキナワ返かんと日米経済問題とは別であるとの立場をとってきたが、軍事委員会の構成員がせん維産業のある州の出身である等の事情もあり、今や事実上両者がからまつてきたと述べていた。

(3)

-2-

特

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘

25

大	外務省	官
次	事務	典房
長	審審	長長
長	文会	營給
長	電厚	計
長	参調	析企
長	参領	旅移
長	参地中	東
長	参北北	保
長	参西東	洋
長	参西東	西東
長	参書近	ア
長	次総経	国万
長	参資統	国
長	参政技	二
長	参政経	科
長	参道内	外
長	参道内	外

電信写

総番号(TA) 42307  
 69年 9月 22日 19時 00分  
 69年 9月 23日 08時 47分

米 國  
本 省

主 管  
發 着  
粉 長

外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ返かん交渉

第2975号 特秘 至急

タナカ大使より

2 / 日本使フインの家に招かれ社交的ふん国気の下に本件について話し合つたがその際先方の述べたところ。往電第2964号と若干の重複をいとわず次の通り。

1. → ロジャース國務長官は一般論として秘密協定は好まないとの意向を示しているが、これは米タイ関係等議会の追求を受けたためである。

2. → 核の問題でEMERGENCY持込みが米側の考え方といっているのは核撤去に国防省が依然として反対しているので。國務省としてはこの程度のところで収めたいと考えているということであつて未だ国防省との間に問題をつめて見ていない。核については秘密協定を必要とするというのはこの構想をとる場合日本側としてコミュニケに書くわけにゆかぬのでこれがうら付の別途の合意を必要とすることとならうという意味である。

3. → 核の問題は大統領と總理の会談で決るといふのは米側



特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

としては対内的にそういう形とせざるをえないということ  
で。政府部内での研究は何れ始まる。

以上フインの述べはところは私見と思われる点もあるが御  
参考まで。なお、同人の立場上在京米側に御引用なきよう  
念のためお願いします。

国連へ転電した。

(3)

—2—

(18:35 米北/平谷に連絡あり)

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘 352

電信写

官房長  
審長  
審長  
文書長  
秘書長

総番号(TA) 42765  
 69年9月24日 21時10分 米 国  
 69年9月25日 10時25分 本 省  
 主管 米局長  
 発着

外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ返かん交渉

第2996号 特秘 至急

タナカ大使より  
 本件交渉が国務省との間に進んでいることにもかんがみ最近国防省とは接触していなかつたが同省内の空気を知るため国務省と予め打合わせの上24日国防総省NUTTEBを往訪し約1時間こん談した。日本国内及び極東情勢につき話し合いの間本使より本件交渉については当然INFORMされていると思うが貴見如何と打しんせるところ。先方は従来と同様のオキナワ基地の役割を概述した後、特に核の問題につき他に適当な基地とすべきところがないと述べ。これに対し本使より日本の国内的ふん囲気においては如何なる政府も日本領土内に核兵器の存在を認めることはできない。オキナワは日米間に残されたゆ一の重要懸案であり、将来の日米関係を安定した基礎におくため大局的見地より本件解決をはかることが必要であるとの趣旨を述べたところ。先方は核の問題にはそれ以上言及せず。極東情勢につき中々ソ関係は重大化しており(GRAVE)中共

計厚電人  
 企析調参  
 移旅領参  
 東中地参  
 北東西  
 北北保  
 一  
 西東洋  
 西東  
 近参  
 次給経国  
 参質統  
 参政技二  
 国一選  
 参参協規  
 参政経科  
 軍社専  
 参道内外  
 一

# 特

## 注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

の核開発も進んでいるが自分の特に関心をもつのは当面の問題もさることながら今後日本がこれ等の情勢に如何に対応してゆこうとするのであろうかとの点であると述べ、本使より日本はこれまで戦後処理と経済復興に専念してきたが最近安全保障に対する関心は急速に高まっている。これ等の事情は//月の貴官訪日の際とくと見聞せられたいと述べ、更に安全保障も安定した政治的基礎が前提となるのでオキナワ問題解決につき国防省としても好意的考慮を払われたいと述べたところ、先方首こうしつつも、われわれとしてはやはり軍事面も考えなければならぬと答えた。なおこの間先方は日本事情につききょう味を示して各種の質問を行ない、日本及びオキナワの基地問題、今後の基地のあり方等につき当方意見を徴していた。(了)

- 2 -



特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

会に接近している。この点でDIRKSENの死亡は情勢を好転させた。

(4) イノウエ上院議員にハワイのオキナワ出身者を通じオキナワの現状維持を希望するものから働きかけがある。

(5) 韓国及び国府ロビーが議員を歴訪して、オキナワ後の極東のSECURITYの問題につき各種の質問をしている。

2、24日本使本件に積極的関心をもつマツナガ下院議員を往訪したところ、先方は本件見通しにつき比較的らつ観的トーンを示すと共に、下院においてアジア・太平洋問題小委員の大勢は核よりもむしろ基地使用について不安をもっている。外交委員会も同様と考える。軍事委員会には返かん反対ないし厳しい条件を付そうとするものが約20%いると述べていた。

(3)

(2)

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘 158

電信写

- 官外外儀官
- 務典房
- 官審審長長
- 書文会営給
- 人電厚計
- 参調析企
- 参領旅移
- 参地中東
- 北東西
- 参北北保
- 参一二
- 参西東洋
- 西東
- 参審近ア
- 次総経國万
- 参實統國
- 参政技二
- 國一理
- 参条協規
- 参政経科
- 軍社専
- 参道内外
- 一二

総番号(TA) 42964  
 69年9月25日 18時40分  
 69年9月26日 08時10分

米 国  
 本 省

主 管  
 務 着 宋局長

外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ返かん交渉

第3003号 特秘 至急

タナカ大使より  
 25日本使一時帰国あいさつのためグリーン次官補を往訪した際、本件に関し、戦闘作戦行動については合意の方向に向っているが核が未解決であり米側事情はわかっているができるだけ速かに実質的には解決を計られたい。また日本側は基本的立場として秘密協定は好まないこの点も了解されたいと述べたのに対し、先方は御承知の通り米側としては核の問題の解決には時をかける必要があるが、本件は動いている(MOVING ALONG)と答え(第二点はコメントせず)。次いで財政問題に言及し、基本方針だけは総理訪米までに決めなければならないとの従来よりの立場を述べ、更に交渉全体について何とかまとまると思うと述べていた。

(13)